

キャラクター名 ワレモコウ	プレイヤー名
------------------	--------

種族	エルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	操霊術師	性別	女	年齢	16
冒険者Lv	10	経歴	血縁者と死別したことがある		
経験点	590		のめりこむ趣味がある 才能を絶賛されたことがある		

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	7	1		17	2	ソーサラー	1	デーモンルーラー	5
体	4	敏捷度	4	1		14	2	コンジャラー	10	ウォーリーダー	7
		筋力	1	3		8	1	レンジャー	1		
心	13	生命力	10	9		23	3	セージ	5		
		知力	12	16		41 + 1	7	エンハンサー	5		
		精神力	11	8		32	5	アルケミスト	5		

戦闘特技				
鋭い目	2120 p			p
魔法拡大/数	1B39 p			p
魔法収束	1B39 p			p
武器習熟A/スタッフ	1B31 p			p
魔法誘導	1B32 p			p
武器習熟S/スタッフ	1B31 p			p
				p
				p
				p
				p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術		
アンチボディ	怒涛の攻陣Ⅲ：轟炎	
メディテーション	怒涛の攻陣Ⅳ：爆焰	
ストロングブラッド	蘇る秘奥	
ビートルスキン		
スフィンクスノレッジ		
バークメール		
ヴォーパルウェポン		
クラッシュファンク		
パラライズミスト		
イニシアティブブースト		
軍師の知略		
鉄壁の防陣Ⅱ：鉄鎧		
鉄壁の防陣Ⅱ：堅体		
怒涛の攻陣Ⅱ：烈火		

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点		
鎧	マナコートプラス		1	7
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	7

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ステイブルスピア <small>攻撃系戦旗槍 ランク2から使用可能 補助動作で収納可能 魔法の発動体</small>	1H両	15	-2	2d+ -2	10	0	10										
ステイブルスピア <small>防衛系戦旗槍 ランク2から使用可能 補助動作で収納可能 魔法の発動体</small>	1H両	15	-2	2d+ -2	10	0	10										
ソーサースタッフ <small>行使判定+2</small>	2H		1	2d+ 1	12	3	20										
マナスタッフ <small>魔力+1、魔法の武器</small>	2H	3	1	2d+ 1	12	3	13										
スパイラルホワイトロッド <small>行使した魔法が発生させる物理、魔法ダメージ2 軸に収納可能 ルシエロイネ魔導術派派使用可能</small>	1H	6	1	2d+ 1	12	3	14										
ナイフ <small>魔法の発動体</small>	1H投	1		2d+ 0	10	0	1										
支配の杖	2H	1	2	2d+ 2	12	3	11										
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	16 m	48 m

回避	防護点
2d+ 0	7

HP
50

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	1	9			
操霊魔法	10	18			
深智魔法	1	18			
召異魔法	5	13			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 14	2d+ 14

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 13	2d+ 15

MP
82

装備品	説明
頭 とんがり帽子	
耳 勇者の証：心	
顔	
首 血水晶のチョーカー	マフラーの下に
背中 ウェポンホルダー改	
右手 知性の指輪	
腰 アルケミーキット	
足 ティスプレッサーガジェット(アガリガ)	魔法ダメージ+1。魔法の発動体も兼ねる
その他 光魔の印	

装備品	説明
左手 知性の指輪	

その他メモ	自動失敗 チェック
物心ついたときから両親は共働き、愛情はあったが注ぐための時間がなくあまり構われなかった彼女は、外へでることも苦手だった	
そんな中、話し相手に、遊び相手になってくれたのが480歳のおばあちゃん	□□□□⑤
おばあちゃんと遊ぶうちにハマっていったのがボードゲーム	
幼いながらも回る頭で当時ゲーマーだったおばあちゃんを僅差で打ち負かし、孫自慢したかったおばあちゃんに連れられて町内会的なオリエンテーションでも大人たち相手にも立ち回り優勝を収めたりと頭角を現す。	□□□□⑩
ただ外へ出ること、人と話すことが苦手な彼女がそれ以上敵を求めることもなく、引きこもる	□□□□⑮
おばあちゃんが老衰して独りになっても、残してくれた本で独り遊び続けた。	□□□□⑳
そんな日々が続く、成人した一年後のある日「この盤上の戦場ではなく、現実の戦場なら、自分の知略が通用するのか」という思いが湧き上がる。	□□□□㉕
	□□□□㉙
偏頭痛持ち	□□□□㉚

